

平成 25 年度第 1 回シンポジウム  
「水産物消費拡大と魚食普及活動連携」

1. 開催日： 平成 25 年 6 月 28 日（金） 13:30～16:30
2. 会場： 一般社団法人大日本水産会 大会議室  
（東京都港区赤坂 1 丁目 9 番 13 号 三会堂ビル 8F）
3. コーディネーター：  
東京海洋大学海洋科学部（漁業経済学） 馬場 治教授
4. パネリスト：（順不同）
  - ①株式会社生鮮流通研究所 代表取締役 伊藤 繁則氏
  - ②コープあいち食育グループ「結い」 福谷 佳子氏
  - ③株式会社マルハニチロホールディングス CSR 統括部課長 小林 三千夫氏
  - ④全国漁業協同組合販売事業部直販事業グループ  
マネージャー 渡辺 聡氏
  - ⑤中部水産株式会社販売促進部 部長 神谷 友成氏
  - ⑥公益社団法人東京都栄養士会 幹事 並木 英己子氏
5. プログラム：
  - 13:30 主催者あいさつ
  - 13:35 事務局開催説明
  - 13:40 パネルディスカッション
    - ・コーディネーター馬場教授
    - ・パネラースピーチ
    - ・パネラーディスカッション
    - ・パネラー&来場者総合意見交流
    - ・パネラー&来場者総合意見交流
  - 16:10 まとめ 馬場教授
  - 16:20 事務局挨拶
  - 16:30 終了
7. 問合せ先： 一般社団法人大日本水産会 魚食普及推進センター  
東京都港区赤坂 1 丁目 9-13 三会堂ビル 8F  
TEL 03(3585)6684 FAX 03(3582)2337

(以上)

平成25年度第1回シンポジウム  
「水産物消費拡大と魚食普及活動連携」  
(開催趣旨)

長期にわたる水産物の消費減少に歯止めをかけ、消費拡大へと導くために多くの方々が魚食普及活動に尽力されております。漁業者、卸売業者、加工業者など水産業界関係者のみならず、食の選択を行い、いろいろな場面で水産物購入を行う消費者、これら消費者の方々と水産食材をつなぐ流通関係者、学校給食・病院食・団体給食など衛生・栄養学的見地から、メニューに水産物を活用され、小学生やサラリーマンなど多くの方々に提供される管理栄養士の方々など、消費市場のいろいろな立場の方々の、選ぶ理由・選ばない理由などを知った上で、消費者、顧客の方々に選んで頂き、消費拡大への対策・対応を講じる必要があります。

このように思考する中、昨年度は分野別シンポジウムとして、『量販・鮮魚専門店の聞く～水産製品販売拡大の取組み～』、『消費者に聞く～どこで買う、どう選ぶ食・水産製品、課題は?～』、『流通・卸売業に聞く～その役割と課題～』の3回を開催致しました。それぞれの異なる分野の課題、取組につきお話、意見交流をして頂きました。これら議事録は本会ホームページ <http://www.suisankai.or.jp/> のサイト「おさかな食べようネットワーク図書室」内の「議事録アーカイブ」に掲載しております。是非ご参照ください。

今年度第1回シンポジウムはタイトルを「水産物消費拡大と魚食普及活動連携」としまして、各分野をつなぎ、今後の魚食普及活動の連携・協働に向け討論、意見交換を致します。開催日は6月28日(金)午後1時30分より、会場は三会堂8階の本会大会議室です。

今回のシンポジウムは、昨年の意見交流内容を横軸に深めて行くこととして、昨年の分野別シンポジウムでコーディネーターを務めて頂きました東京海洋大学海洋科学部(漁業経済学)の馬場治教授に再びお願い致します。

多くの方々のご参加をお待ち致します。よろしく願い申し上げます。

敬具

\*\*\*\*\*

一般社団法人 大日本水産会  
魚食普及推進センター 事務局長 宮本博紀  
〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9-13  
三会堂ビル8F  
TEL 03(3585)6684 FAX 03(3582)2337  
Eメール [miyamoto@suisankai.or.jp](mailto:miyamoto@suisankai.or.jp)

\*\*\*\*\*

## 《コーディネーター紹介》

東京海洋大学海洋科学部 馬場 治教授

高知県生まれ、1984年東京大学大学院農学系研究科博士課程修了、現在、東京海洋大学(旧東京水産大学)海洋科学部教授。漁業管理の制度や実態、漁業経営、水産物流通など、水産業の社会経済的側面に関する教育研究に携わる傍ら、農林水産省独立行政法人評価委員会農業分科会専門委員、東日本大震災復興構想会議検討部会専門委員等公務多忙に加え、本年度は、水産庁養殖事業経営力強化施策検討の有識者会議「養殖業のあり方検討会」の座長も務められています。

## 《パネリスト紹介》

(順不同)

### ① 株式会社生鮮流通研究所 代表取締役 伊藤 繁則氏

株式会社魚力代表取締役を14年間務められた後、平成23年6月相談役、24年6月魚力を退社され、株式会社生鮮流通研究所を創立、代表取締役に就任されました。鮮魚仕入れ、店頭販売など生鮮魚流通・販売の経営講習、指導に取り組んでおられます。

### ② コープあいち食育グループ「結い」 福谷 佳子氏

40万人を超える組合員、愛知県全域を事業地域とする生活協同組合コープあいちで尾張地域の食育活動を展開しています。子どもから高齢者・障がい者までの多様なボランティア活動の中から、今回は食育を通じた消費者目線からお話をされます。コープあいちについては、<http://www.coop-aichi.jp/> をご覧ください。

### ③ 株式会社マルハニチロホールディングス CSR統括部課長 小林 三千夫氏

社歴百年を超える水産会社マルハニチログループで、CSR活動の浸透と推進、年次報告書の制作などを担当。ここ数年は、社員と消費者との双方向コミュニケーション機会を創出するために、料理教室やワークショップなどの開催に特段の注力をされています。マルハニチログループのホームページは<http://www.maruha-nichiro.co.jp/> です。

### ④ JF全漁連(全国漁業協同組合)販売事業部直販事業グループ マネージャー 渡辺 聡氏

平成8年株式会社全漁連フーズに入社、21年の事業統合により、全漁連販売事業部直販事業グループへ異動。17年間にわたり生協業態をはじめ量販店、外食、給食業態等広範囲にわたり、末端に向けた直販事業を担当、販売活動を通じて魚食普及に努めておられます。

### ⑤ 中部水産株式会社販売促進部 部長 神谷 友成氏

中部地域の中心地にある名古屋市中央卸売市場本場内にある水産卸売業3社の内の1社に所属され、水産物をより多くの消費者に届けるべく、販売促進部門をご担当されています。おさかなマイスター、お魚かたりべとして食育部門でも魚食普及に積極的に努められています。中部水産ホームページは<http://www.nagoya-chusui.co.jp/> です。

⑥ 公益社団法人東京都栄養士会 幹事 並木 英己子先生

栄養士会幹事であると同時に、豊島区立南池袋小学校栄養士（教育支援員）、城西大学医療栄養科非常勤講師を務めておられます。この3月まで同小学校で学校の栄養士をされていましたが、本年度より同校で食育支援として指導をされています。長年学校給食メニュー作成、食材調達、調理など給食管理を担当されています。また、子ども達の食育指導にも積極的に努めておられ、本校勤務は9年目、学校給食業務は40年以上になられます。

(以上)